

令和7年度 学校基本調査結果の概要

令和7年5月1日現在で市内に所在する学校等を対象として実施しました「学校基本調査（基幹統計調査）」のうち、「学校調査」と「卒業後の状況調査」の結果をまとめましたので、その概況を公表します。

また、令和7年4月1日現在で市内に所在する保育所の概況（学校基本調査対象外）についても、併せて公表します。

目 次

I 学校調査

1 学校数	2 ページ
2 在学者数	3 ページ
3 幼稚園	4 ページ
4 幼保連携型認定こども園	5 ページ
5 保育所（学校基本調査対象外）	5 ページ
6 小学校	6 ページ
7 中学校	7 ページ
8 高等学校	8 ページ
9 専修学校	9 ページ
10 各種学校	10 ページ
11 短期大学	11 ページ
12 大学	12 ページ

II 卒業後の状況調査

1 中学校	13 ページ
2 高等学校	14 ページ
3 短期大学	15 ページ
4 大学	16 ページ

I 学校調査

1 学校数 - 学校総数は 986 で、前年度と比べ 4 減少（保育所を除く）

令和 7 年 5 月 1 日現在の市内の学校数は、
 幼稚園 166 園、
 幼保連携型認定こども園 71 園（前年度 2 園 増）、
 保育所 471 所（同 8 所 減）、
 小学校 293 校、
 中学校 156 校（同 2 校 増）、
 義務教育学校 1 校、
 高等学校 83 校（同 3 校 減）、
 中等教育学校 0 校（同 1 校 減）、
 専修学校 157 校（同 2 校 減）、
 各種学校 18 校（同 1 校 減）、
 特別支援学校 18 校（同 1 校 減）、
 短期大学 8 校、
 大学 15 校

前年度と比べ、幼保連携型認定こども園が 2 園、中学校が 2 校増加した一方、高等学校が 3 校、専修学校が 2 校、中等教育学校、各種学校及び特別支援学校が 1 校減少し、学校総数は 986 と前年度より 4 減少しました。

令和 6 年度に 1 校ありました中等教育学校は、令和 7 年 3 月末に閉校しました。

【付表 1】

※小学校は分校 4 校を含みます。
 ※特別支援学校は分校 1 校を含みます。
 ※学校総数には保育所を含んでいません。

でした。

付表 1 各学校数の推移

(園・校)													
年度	幼稚園	幼保連携型 認定こども園	保育所	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	専修学校	各種学校	特別支援 学校	短期大学	大学
平成													
28年	182	25	417	299	155	-	90	1	163	26	16	8	11
29年	178	33	420	297	155	-	90	1	165	26	16	8	11
30年	176	40	443	296	155	-	91	1	166	25	16	8	11
令和													
元年	172	50	456	296	155	-	91	1	165	25	16	8	11
2年	171	55	456	298	155	-	89	1	165	26	17	8	11
3年	170	58	467	296	154	-	89	1	164	25	17	8	13
4年	169	62	477	291	153	1	89	1	161	24	17	8	15
5年	169	66	478	291	153	1	89	1	159	19	17	8	15
6年	166	69	479	293	154	1	86	1	159	19	19	8	15
7年	166	71	471	293	156	1	83	-	157	18	18	8	15
(前年との差)	-	2	△ 8	-	2	-	△ 3	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1	-	-

2 在学者数 - 在学者総数は37万6431人で、前年度と比べ319人増加（保育所を除く）

在学者数は、

幼稚園 1万6001人（前年度比5.9%減）、
 幼保連携型認定こども園 9577人（同1.4%減）、
 保育所 4万652人（同2.6%減）、
 小学校 11万4329人（同1.1%減）、
 中学校 6万1571人（同0.4%増）、
 義務教育学校 839人（同0.9%減）、
 高等学校 6万9062人（同0.3%減）、
 中等教育学校 0人（同100%減）、
 専修学校 5万5912人（同0.9%増）、
 各種学校 5408人（同6.0%増）、
 特別支援学校 3183人（同4.2%増）、
 短期大学 2902人（同19.2%増）、
 大学 3万7647人（同3.7%増）

でした。

在学者の総数は37万6431人で、前年度と比べ幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校で減少した一方、中学校、専修学校、各種学校、特別支援学校、短期大学、大学で増加しました。

【付表2】

※在学者の総数には、保育所を含みません。

付表2 各在学者数の推移

(人)

年度	幼稚園	幼保連携型 認定こども園	保育所	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	専修学校	各種学校	特別支援 学校	短期大学	大学
平成													
28年	26,233	4,812	43,760	117,165	63,466	-	81,006	620	58,453	7,689	2,676	4,175	29,940
29年	25,598	5,947	43,842	117,690	61,984	-	80,000	537	59,898	7,803	2,673	4,139	30,390
30年	24,947	6,445	44,006	118,726	60,494	-	77,952	463	60,950	7,529	2,706	4,004	31,058
令和													
元年	23,995	7,652	43,638	118,843	60,148	-	75,734	359	61,945	7,306	2,759	3,804	31,610
2年	23,168	8,253	43,204	118,696	60,736	-	73,307	238	62,432	5,772	2,754	3,705	31,353
3年	21,853	8,514	43,465	118,178	61,689	-	71,299	140	62,631	5,426	2,853	3,451	32,266
4年	20,339	8,709	43,364	116,995	61,426	784	69,933	75	58,664	5,063	2,881	2,930	33,320
5年	18,796	9,185	42,283	116,483	61,254	797	69,087	47	55,658	5,567	2,956	2,460	34,661
6年	17,012	9,709	41,729	115,643	61,314	847	69,301	18	55,392	5,100	3,054	2,435	36,287
7年	16,001	9,577	40,652	114,329	61,571	839	69,062	0	55,912	5,408	3,183	2,902	37,647
〔前年 との差〕	△ 1,011	△ 132	△ 1,077	△ 1,314	257	△ 8	△ 239	△ 18	520	308	129	467	1,360
〔前年からの 増減率〕	△ 5.9%	△ 1.4%	△ 2.6%	△ 1.1%	0.4%	△ 0.9%	△ 0.3%	△ 100%	0.9%	6.0%	4.2%	19.2%	3.7%

3 幼稚園 – 園児数は1万6001人で、13年連続の減少

(1) 園数

幼稚園数は国立1園、公立51園、私立114園の合計166園で前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は1862人で、女性職員の占める比率は95.4%でした。

(3) 園児数

園児数は1万6001人(男子8123人、女子7878人)で前年度より1011人減少(前年度比5.9%減)し、13年連続で減少しました。

年齢別にみると、

3歳児 4830人(全園児数の30.2%)、

4歳児 5296人(同33.1%)、

5歳児 5875人(同36.7%)

でした。

設置者別にみると、

国立 139人(全園児数の0.9%)、

公立 2327人(同14.5%)、

私立 1万3535人(同84.6%)

でした。

本務教員1人当たり園児数は8.6人で、全国値は8.6人でした。

1組当たり園児数は19.5人で、全国値は17.2人でした。

【付表1・2・3、統計表第1表】

付表3 幼稚園の本務教員数及び組数の推移

年度	本務教員数 (人)				本務教員1人当たり		組数	1組当たり 園児数	
		うち 女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)	園児数 (人)	全国値 (人)		(人)	全国値 (人)
令和 3年	1,880	1,805	96.0	93.4	11.6	11.2	950	23.0	20.6
4年	1,815	1,738	95.8	93.4	11.2	10.2	908	22.4	19.6
5年	1,856	1,768	95.3	93.4	10.1	9.9	885	21.2	18.8
6年	1,870	1,788	95.6	93.4	9.1	9.2	839	20.3	17.9
7年	1,862	1,776	95.4	93.4	8.6	8.6	819	19.5	17.2

4 幼保連携型認定こども園 – 園児数は 9577 人で、10 年ぶりに減少

(1) 園数

幼保連携型認定こども園数は私立のみの 71 園で、前年度と比べ 2 園増加しました。

(2) 本務教育・保育職員数

本務教育・保育職員数は 1549 人で、女性職員の占める比率は 93.4% でした。

(3) 園児数

園児数は 9577 人（男子 4845 人、女子 4732 人）で、前年度より 132 人減少（前年度比 1.4% 減）し、10 年ぶりに減少しました。

年齢別にみると、

0 歳児 349 人（全園児数の 3.6%）、
1 歳児 996 人（同 10.4%）、
2 歳児 1191 人（同 12.4%）、
3 歳児 2304 人（同 24.1%）、
4 歳児 2328 人（同 24.3%）、
5 歳児 2409 人（同 25.2%）

でした。

本務教育・保育職員 1 人当たり園児数は 6.2 人で、全国値は 5.6 人でした。

1 組当たり園児数（3～5 歳児）は 21.9 人で、全国値は 19.0 人でした。

【付表 1・2・4、統計表 第 2 表】

付表 4 幼保連携型認定こども園の本務教育・保育職員数及び組数の推移

年度	本務教育・保育職員数				本務教育・保育職員 1 人当たり 園児数 (0～5 歳児)		組数	1 組当たり園児数 (3～5 歳児)	
	(人)	うち女性教育・ 保育職員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)	(人)	全国値 (人)		(人)	全国値 (人)
令和 3 年	1,272	1,192	93.7	94.7	6.7	6.2	280	22.7	20.7
4 年	1,330	1,243	93.5	94.8	6.5	6.0	286	22.5	19.2
5 年	1,409	1,286	91.3	94.7	6.5	5.9	313	21.6	19.6
6 年	1,464	1,366	93.3	94.7	6.6	5.8	320	22.3	19.3
7 年	1,549	1,447	93.4	94.8	6.2	5.6	322	21.9	19.0

5 保育所（学校基本調査対象外） – 児童数は 4 万 652 人で、4 年連続の減少

(1) 所数

保育所数は公設公営 50 所、公設民営 32 所、私立 389 所の合計 471 所で、前年度より 8 所減少しました。

(2) 保育士数

保育士数は 8736 人でした。

(3) 児童数

保育所児童数は 4 万 652 人で、前年度より

1077 人減少し、4 年連続で減少しました。

年齢別にみると、

1 歳児以下 8883 人（全児童数の 21.9%）、
2 歳児 7604 人（同 18.7%）、
3 歳児 8122 人（同 20.0%）、
4 歳児 7951 人（同 19.6%）、
5 歳児 8092 人（同 19.9%）

でした。

【付表 1・2、統計表 第 3 表】

6 小学校 - 児童数は11万4329人で、6年連続の減少

(1) 学校数

学校数は国立2校、公立284校、私立7校の合計293校（分校4校を含む）で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は8398人で、女性職員の占める比率は60.5%でした。

(3) 児童数

児童数は11万4329人（男子5万8157人、女子5万6172人）で前年度より1314人減少（前年度比1.1%減）し、6年連続で減少しました。

学年別にみると、最も多いのは6年生で1万9674人（全児童数の17.2%）、最も少ないのは1年生で1万8065人（同15.8%）でした。

設置者別にみると、

国立 1246人（全児童数の1.1%）、
公立 11万125人（同96.3%）、
私立 2958人（同2.6%）

でした。

本務教員1人当たり児童数は13.6人で、全国値は13.7人となっています。

1学級当たりの児童数は21.0人で、全国値は21.4人でした。

外国人児童数は4388人で、前年度より978人増加（前年度比28.7%増）し、児童全体に占める割合は3.8%でした。

【付表1・2・5、統計表 第4表】

付表5 小学校の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数				本務教員 1人当たり児童数		学級数	1学級当たり児童数	
	(人)	うち 女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)	(人)	全国値 (人)		(人)	全国値 (人)
令和 3年	8,017	4,867	60.7	62.4	14.8	14.7	5,346	22.2	22.8
4年	7,936	4,797	60.4	62.4	14.7	14.5	5,477	21.4	22.4
5年	8,345	5,086	60.9	62.6	14.0	14.3	5,469	21.3	22.1
6年	8,297	5,026	60.6	62.6	13.9	14.0	5,407	21.4	21.7
7年	8,398	5,079	60.5	62.7	13.6	13.7	5,436	21.0	21.4

7 中学校 — 生徒数は6万1571人で、2年連続の増加

(1) 学校数

学校数は国立2校、公立131校、私立23校の合計156校で、前年度と比べ2校増加しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は5132人で、女性職員の占める比率は47.1%でした。

(3) 生徒数

生徒数は6万1571人（男子3万1345人、女子3万226人）で前年度より257人増加（前年度比0.4%増）し、2年連続で増加しました。

設置者別にみると、

国立 751人（全生徒数の1.2%）、
公立 5万1393人（同83.5%）、
私立 9427人（同15.3%）

でした。

本務教員1人当たり生徒数は12.0人で、全国値は12.6人となっています。

1学級当たりの生徒数は26.7人で、全国値は26.0人でした。

外国人生徒数は1967人で、前年度より713人増加（前年度比56.9%増）し、生徒全体に占める割合は3.2%でした。

【付表1・2・6、統計表 第5表】

付表6 中学校の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数				本務教員 1人当たり生徒数		学級数	1学級当たり生徒数	
	(人)	うち女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)	(人)	全国値 (人)		(人)	全国値 (人)
令和									
3年	4,978	2,272	45.6	62.4	12.4	14.7	2,353	26.2	26.9
4年	4,677	2,197	47.0	62.4	13.1	14.5	2,387	25.7	26.7
5年	4,977	2,299	46.2	62.6	12.3	14.3	2,329	26.3	26.5
6年	5,011	2,335	46.6	44.8	12.2	12.7	2,289	26.8	26.3
7年	5,132	2,418	47.1	45.0	12.0	12.6	2,309	26.7	26.0

8 高等学校 – 生徒数は6万9062人で1年ぶりの減少

(1) 学校数

学校数は国立1校、公立46校、私立36校の合計83校で、前年度より3校減少しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は4905人で、女性職員の占める比率は35.3%でした。

(3) 生徒数

生徒数は6万9062人（男子3万4229人、女子3万4833人）で前年度より239人減少（前年度比0.3%減）しました。

設置者別にみると、

国立 1291人（全生徒数の1.9%）、
公立 3万53人（同43.5%）、
私立 3万7718人（同54.6%）
でした。

付表7 高等学校の本務教員数の推移

年度	本務教員数				本務教員1人当たり生徒数	
	(人)	うち女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)	(人)	全国値 (人)
令和3年	5,188	1,755	33.8	32.9	13.7	13.3
4年	5,035	1,714	34.0	33.1	13.9	13.2
5年	4,962	1,681	33.9	33.4	13.9	13.1
6年	4,921	1,714	34.8	33.8	14.1	13.0
7年	4,905	1,730	35.3	34.1	14.1	13.0

本科の生徒数を学科別にみると、

普通科 4万7850人（全生徒数の69.3%）、
総合学科 4968人（同7.2%）、
工業科 3957人（同5.7%）、
商業科 2567人（同3.7%）、
その他 9720人（同14.1%）

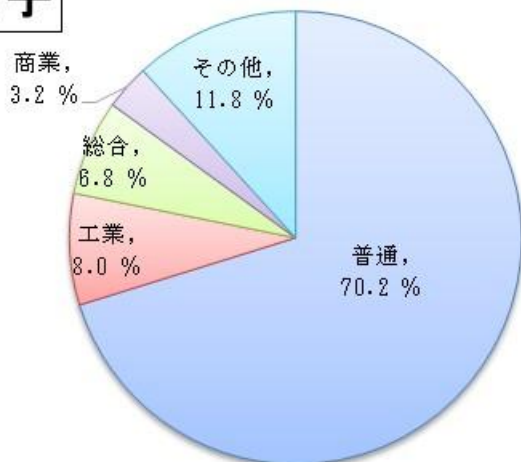
でした。

男女別に学科別生徒数を比較すると、男女ともに普通科の割合が最も高く、男子は70.2%、女子は68.4%でした。

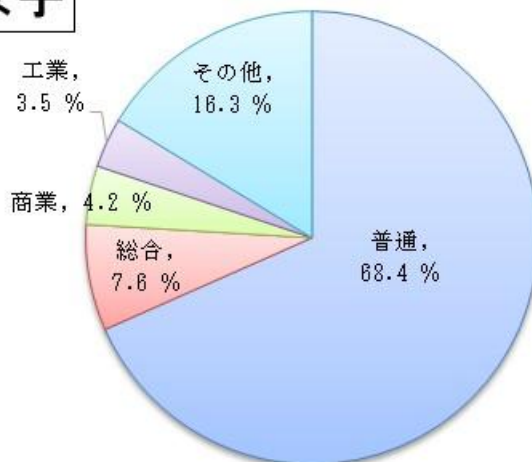
【付表1・2・7、図1、統計表 第7表】

図1 高等学校の本科生徒の男女別学科別割合

男子



女子



9 専修学校 - 生徒数は5万5912で4年ぶりの増加

(1) 学校数

学校数は、公立1校、私立156校の合計157校で、前年度から2校減少しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は2834人で、女性職員の占める比率は48.2%でした。

(3) 生徒数

生徒数は5万5912人（男子2万4120人、女子3万1792人）で前年度より520人増加（前年度比0.9%増）しました。

分野別にみると、

文化・教養 1万8994人
（全学生数の34.0%）、
医療 1万103人（同18.1%）、
工業 8431人（同15.1%）、
衛生 8056人（同14.4%）、
商業実務 6256人（同11.2%）、
服飾・家政 2189人（同3.9%）、
教育・社会福祉 1820人（同3.3%）、
農業 63人（同0.1%）

でした。

【付表1・2・8、図2、統計表第9表】

付表8 専修学校の本務教員数の推移

年度	本務教員数 (人)	うち女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)
令和3年	3,023	1,389	45.9	52.5
4年	2,917	1,331	45.6	52.3
5年	2,908	1,338	46.0	52.4
6年	2,870	1,348	47.0	52.4
7年	2,834	1,366	48.2	52.7

図2 専修学校の生徒の分野別割合



10 各種学校 - 生徒数は 5408 人で再び増加（令和 3 年度から増減を繰り返している。）

（1）学校数

学校数は私立のみの 18 校で、前年度から 1 校減少しました。

（2）本務教員数

本務教員数は 260 人で、女性職員の占める比率は 52.3%でした。

（3）生徒数

生徒数は 5408 人（男子 3145 人、女子 2263 人）で前年度より 308 人増加（前年度比 6.0% 増）し、再び増加しました。

分野別にみると、

予備校 2644 人（全生徒数の 48.9%）、

外国人学校 1943 人（同 35.9%）、

服飾・家政及び文化・教養

761 人（同 14.1%）、

医療・衛生 60 人（同 1.1%）

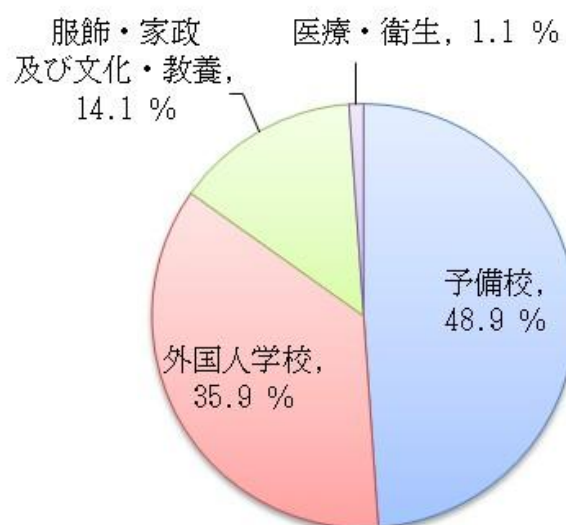
でした。

【付表 1・2・9、図 3、統計表第 10 表】

付表 9 各種学校の本務教員数の推移

年度	本務教員数			
	(人)	うち女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)
令和 3 年	269	140	52.0	43.7
4 年	246	124	50.4	43.6
5 年	239	124	51.9	44.5
6 年	222	121	54.5	45.5
7 年	260	136	52.3	46.9

図 3 各種学校の生徒の分野別割合



11 短期大学 – 学生数は 2902 人で、11 年ぶりに増加（前年度比 19.2%の増加）

（1）学校数

学校数は私立のみの 7 校で、前年度より 1 校減少しました。

（2）本務教員数

本務教員数は 171 人で、女性職員の占める比率は 63.2%でした。

（3）学生数

学生数は 2902 人（男子 365 人、女子 2537 人）で前年度より 467 人増加（前年度比 19.2%増）し、11 年ぶりに増加しました。

関係学科別にみると、

教育 800 人（全学生数の 27.6%）、
家政 721 人（同 24.8%）、
保健 497 人（同 17.1%）、
社会科学 123 人（同 4.2%）、
人文科学 121 人（同 4.2%）、
その他 174 人（同 6.0%）、
専攻科・別科等 466 人（同 16.1%）

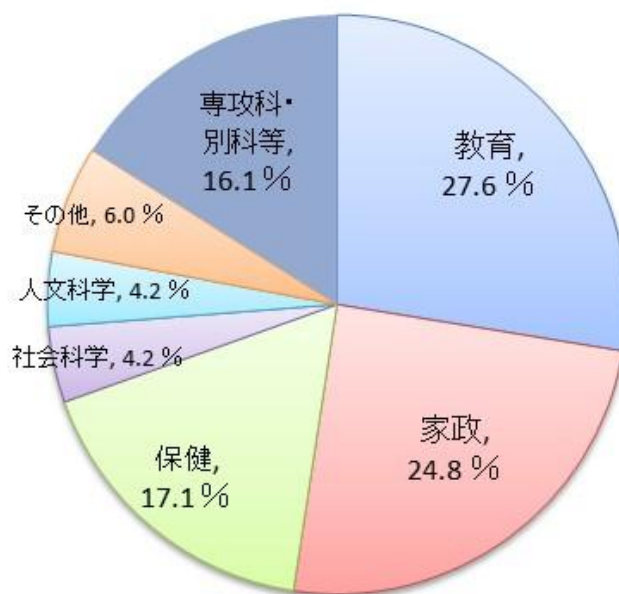
でした。

【付表 1・2・10、図 4、統計表第 12 表】

付表 10 短期大学の本務教員数の推移

年度	本務教員数			
	(人)	うち女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)
令和 3 年	248	151	60.9	53.5
4 年	227	133	58.6	53.6
5 年	217	125	57.6	53.7
6 年	189	101	53.4	53.9
7 年	171	108	63.2	53.8

図 4 短期大学の学生の関係学科別割合



12 大学 – 学生数は学部・大学院あわせて3万7647人で過去最多を更新

(1) 学校数（注1）

学校数は、公立2校、私立13校の合計15校で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数（注2）

本務教員数は2507人で、女性職員の占める比率は26.2%でした。

(3) 学生数（注3）

学生数は3万7647人（男子2万1762人、女子1万5885人）で、前年度より1360人増加（前年度比3.7%増）しました。

学生数の内訳をみると、

学部 3万3538人（構成比89.1%）、
大学院 3325人（同8.8%）、
専攻科・別科等 784人（同2.1%）

でした。

関係学部別にみると、

昼間（第1部）では、「社会科学」、「工学」が多く、夜間（第2部）では、「社会科学」が多くなっています。

【付表1・2・11、図5、統計表第13表】

（注1）「学校数」は、市内に本部を有する学校数です。

（注2）「本務教員数」は市内に本部を有する学校の数値です。

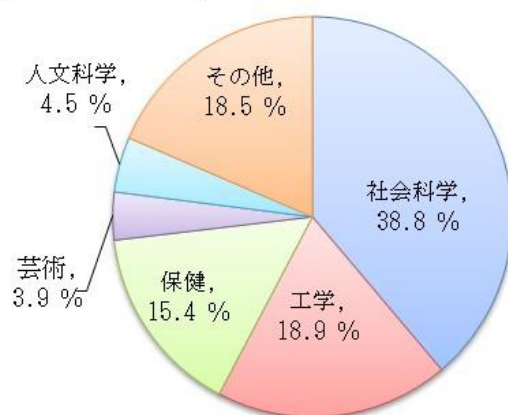
（注3）「学生数」は市内の学部・大学院に在籍する学生の数であり、学部学生のほか、大学院、専攻科・別科の学生及び聴講生等を含みます。

付表11 大学の本務教員数及び学生数の推移

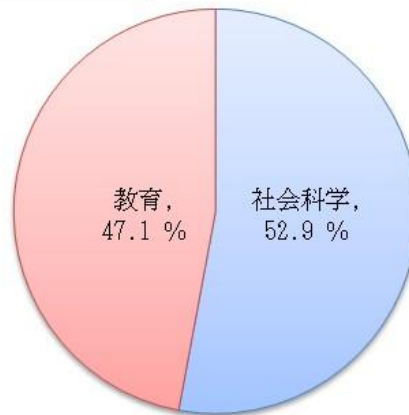
年度	本務教員数 (人)				学生数 (人)						
		うち女性教員 (人)	比率 (%)	全国値 (%)		うち学部 (人)	うち大学院 (人)	うち 専攻科・別科等 (人)	うち女子 (人)	女子の比率 (%)	全国値 (%)
令和3年	1,749	417	23.8	26.4	32,266	28,911	2,916	439	12,657	39.2	44.5
4年	2,453	583	23.8	26.7	33,320	29,817	3,006	497	13,172	39.5	44.5
5年	2,491	615	24.7	27.2	34,661	31,059	3,065	537	13,929	40.2	44.6
6年	2,515	648	25.8	27.8	36,287	32,107	3,010	1,170	14,922	41.1	44.7
7年	2,507	656	26.2	28.2	37,647	33,538	3,325	784	15,885	42.2	45.0

図5 大学の学生の昼夜別関係学科別割合

昼間(第1部)



夜間(第2部)



Ⅱ 卒業後の状況調査

1 中学校卒業後 - 高等学校への進学率は98.3%で前年度と比べ0.1ポイント減少

(1) 卒業者数

令和7年3月の中学校卒業者は2万421人（男子1万359人、女子1万62人）でした。

(2) 卒業者の状況（注1）

卒業者を状況別にみると、
高等学校進学者
2万64人（卒業者の98.3%）、
専修学校進学・入学者 141人（同0.7%）、
就職者等 43人（同0.2%）
でした。

(3) 進学状況

高等学校への進学者の割合（以下「進学率」という。）は98.3%で、前年度より0.1ポイント減少しました。

進学率を男女別にみると、男子は98.0%（前年度から0.2ポイント減少）、女子は98.5%（同比増減なし）となっています。

(4) 就職状況（注2）

就職者数は42人（男子36人、女子6人）でした。

男女別産業別にみると、男女ともに第三次産業の割合が一番大きく、就職者全体の42.9%となりましたが、前年度からは18.0ポイント減少（前年度60.9%）しました。

【付表12、図6、統計表第14表】

（注1）「高等学校等進学者」及び「専修学校等進学・入学者」には、高等学校等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みます。

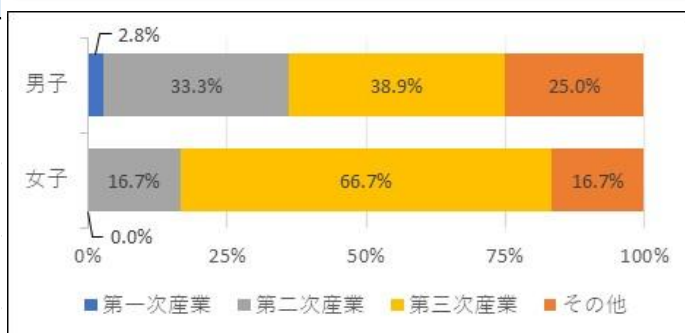
「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者（雇用契約期間が1か月以上の者）及び臨時労働者をいい、高等学校等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

（注2）「就職者」とは自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当（1週間の所定労働時間が40～30時間）の者をいい、高等学校等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職をしている者を含みます。

付表12 中学校卒業者の進学率の推移

卒業年・月	進学率（%）		
	計	男子	女子
令和3年3月	98.5	98.4	98.6
4年3月	98.5	98.4	98.6
5年3月	98.3	98.2	98.4
6年3月	98.4	98.2	98.5
7年3月	98.3	98.0	98.5

図6 中学校卒業者の就職者の男女別産業別割合（令和7年3月卒業）



2 高等学校卒業後 — 大学等への進学率は68.6%で前年度と比べ1.1ポイント上昇

(1) 卒業者数

令和7年3月の高等学校卒業者は2万1873人(男子1万814人、女子1万1059人)でした。

(2) 卒業者の状況(注1)

卒業者を状況別にみると、
大学等進学者
1万5006人(卒業者の68.6%)、
専修学校進学・入学者
3724人(同17.0%)、
就職者等 2088人(同9.5%)
でした。

(3) 進学状況

大学等への進学者の割合(以下「進学率」という。)は68.6%で、前年度より1.1ポイント上昇しました。

進学率を男女別にみると、男子は67.1%(前年度より1.0ポイント上昇)、女子は70.1%(同1.2ポイント上昇)となっています。

(4) 就職状況(注2)

就職者数は1984人(男子1254人、女子730人)でした。

職業別にみると、「生産工程従事者」の割合が就職者全体の28.5%と一番大きく、次いで「サービス職業従事者」が12.6%となっています。

【付表13、図7、統計表第15表】

(注1)「大学等進学者」及び「専修学校等進学・入学者」には、大学等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みます。

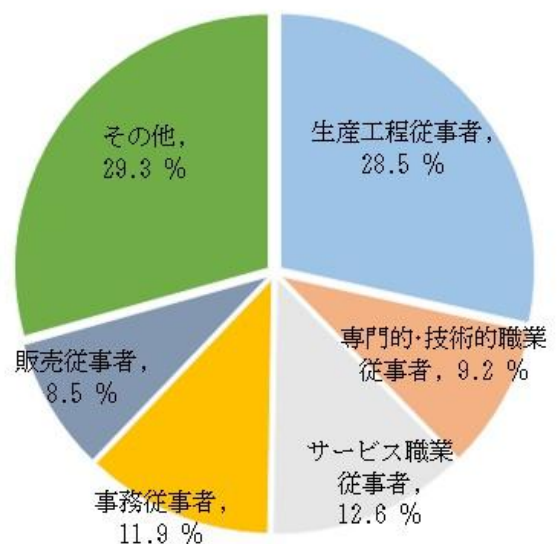
「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)及び臨時労働者をいい、大学等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

(注2)「就職者」とは自営業主、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の予定労働時間が40~30時間)の者をいい、大学等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職をしている者を含みます。

付表13 高等学校卒業者の進学率の推移

卒業年月	進学率 (%)		
	計	男子	女子
令和3年3月	62.7	60.9	64.5
4年	65.1	62.9	67.3
5年	66.3	65.2	67.4
6年	67.5	66.1	68.9
7年	68.6	67.1	70.1

図7 高等学校卒業者の就職者の職業別割合
(令和7年3月卒業)



3 短期大学卒業後 — 卒業者に占める就職者の割合は90.4%

(1) 卒業生数

令和7年3月（年度途中の卒業者を含む）の短期大学卒業者は2310人（男子158人、女子2152人）でした。

(2) 卒業生の状況（注1）

卒業者を状況別にみると、進学者は31人（卒業者の1.3%）、就職者等は2088人（同90.4%）、専修学校・外国の学校等入学者は43人（同1.9%）でした。

(3) 就職状況（注2）

就職者数は1997人で、職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が最も多く、産業別にみると、「医療・福祉」が最も多くなっています。

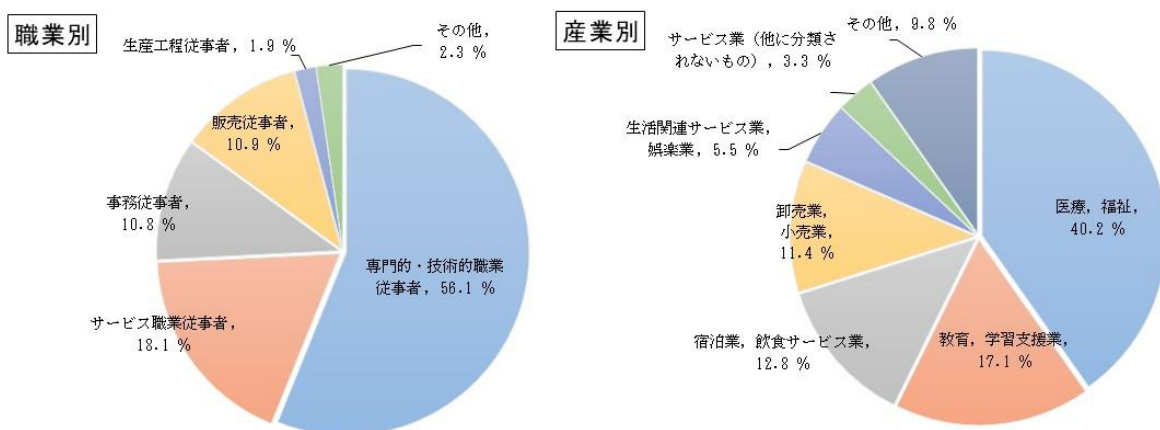
【図8、統計表第16表】

（注1）「進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科に入学したものをいい、かつ、就職等をしている者を含みます。

「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者（雇用契約期間が1か月以上の者）及び臨時労働者をいい、進学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

（注2）「就職者」とは自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当（1週間の予定労働時間が40～30時間）の者をいい、進学し、かつ、就職をしている者を含みます。

図8 短期大学卒業者の就職者の職業別、産業別内訳（令和7年3月卒業）



4 大学卒業後 — 卒業者に占める就職者の割合は82.2%

(1) 卒業者数（注1）

令和7年3月（年度途中の卒業者を含む）の大学卒業者は6635人（男子4215人、女子2420人）でした。

(2) 卒業者の状況（注2）

卒業者を状況別にみると、進学者は813人（卒業者の12.3%）、就職者等は5534人（同83.4%）、専修学校・外国の学校等入学者は25人（同0.4%）でした。

(3) 就職状況（注3）

就職者数は5455人で、職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が最も多く、産業別にみると、「医療・福祉」が最も多くなっています。

【図9、統計表第17表】

（注1）卒業者数は、市内の大学を卒業した者の数値であり、昼間・夜間の合計です。

（注2）「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科に入学したものをいい、かつ、就職等をしている者を含みます。

「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者（雇用契約期間が1か月以上の者）及び臨時労働者をいい、進学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

（注3）「就職者」とは自営業主、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当（1週間の予定労働時間が40～30時間）の者をいい、進学し、かつ、就職をしている者を含みます。

図9 大学卒業者の就職者の職業別、産業別内訳（令和7年3月卒業）

